

国際ロータリー第2790地区 第8グループ

創立1957年3月23日



イマジン
ロータリー

銚子ロータリークラブ会報

第3202号 2023年2月22日(水)発行

例会場 銚子商工会館5階大会議室(銚子市三軒町19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

Email d2790@choshi-rotary.club HP <https://www.choshi-rotary.club>

◇第66代会長 高瀬幸雄 ◇副会長 佐藤直子 ◇幹事 淵岡彰介

本日のプログラム

「紛争と平和」に思うこと

19-20年度グローバル補助金奨学生 工藤幸介様

前回例会報告(2月15日)

点 鐘: 高瀬幸雄会長



ロータリーソング: それでこそロータリー

会長挨拶

昨日の2月14日はバレンタインデーでした。会員の皆様は如何だったでしょうか。お世話になった人に渡す「義理チョコ」、友達に渡す「友チョコ」、自分のために購入する「自己チョコ」など様々な送り方が登場しているようですが、愛情のこもったチョコを貰うのは幾つになっても嬉しく思うのは私だけではないと思います。因みに私は会社の女性から貰い喜んでいました。ご存じの通り、このバレンタインの名前の由来は、西暦269年2月14日に処刑されたローマ帝政時代にキリスト教の司祭ヴァレンティヌス(英語: バレンタイン)の名前のようにです。なぜ有名になったかと言いますと、当時のローマ皇帝クラウディウス2世は「若者が戦争に行きたくないのは、故郷に残る家族や恋人と離れたくないからだ」として、結婚を禁止しました。そのような状況の中、結婚もできないまま戦地へ送られる若者をおかわいそうに思ったキリスト教司祭のバレンタインは、若い兵士の結婚式を内緒でと

り行っていたそうです。

そのことを知った皇帝は、バレンタインを問いただし二度と法に背かないように命じましたが、バレンタインはそれに従わなかったために処刑されました。

もともと古代ローマにおいて2月15日は豊穡祭ルカペリア祭りが執り行われており、その前日の14日は女神ユノー(結婚生活の守護神)の祝日で男女の出会いの日として親しまれていたようです。そのためバレンタインは豊穡祭の生贄として14日に処刑されたようです。

バレンタインデーの日本での始まりは諸説あるようですが一般的には1950年代頃から製菓業界や流通業界によって販売促進のキャンペーンが行われるようになり女性から男性へチョコレートを贈る日として定着していったようです。欧米では一般的に「男性から本命の女性へ想いを伝える日」とされており、国によってもその解釈は様々なようです。

何時の時代も、上に立つ者の言動で被害を受けるのは弱者です。

ロータリアンが大事にする言葉に「ノブレスオブリージュ」があります。この言葉の精神を大事にしなければよい社会は生まれぬことをバレンタインの由来を知って感じたことをお伝えし会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

1. 佐倉中央RC(ストリートピアノ311)ご案内
2. MCRレポート1月分
…ガバナー事務所
3. クラブ・個人表彰等候補者推薦のお願い
…第8グループガバナー補佐
4. ハイライトよねやま275
…公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

2022-23年度ジェニファーE. ジョーンズRI会長テーマ
IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

2790地区 小倉純夫ガバナー(松戸RC)スローガン
ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、
千葉から世界を変えていこう!

製作◇広報・会報委員会 山本肇 五十嵐亘 大岩将道 須永清彦◇

会員の記念日

結婚記念日 飯島 良春会員(2月11日)

ニコニコBOX

◇大ニコニコ 淵岡 彰介幹事

一昨日、息子夫婦が男の子を授かりました。嫁さんに外国人の血が入っていることもあり、新生児にしてお目めパッチリの外人顔です。私もいよいよジジの仲間入りです。カッコイイ ジジイを目指して頑張ります!!

◇伊藤 浩一会員

母校慶應義塾高等学校が春の選抜野球大会に出場が決まりました。阿天坊さんお先にごめんなさい。

◇高瀬 幸雄会長

熊澤会員 卓話宜しくお願い申し上げます。

◇高橋 宏資会員

2月13日(月)に新しい診療所をスタートいたしました。息子と共に診療を続けていきたいと思っておりますので、今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。

卓話

「損害保険会社の仕事」 熊澤 直紀会員



本日は貴重なお時間を頂き、ありがとうございます。上総職業奉仕委員長と寺内例会運営委員長から

職業奉仕の一環で、自分の仕事についてお話するというご依頼を受けましたので、「損害保険会社の仕事」についてお話します。

一言で言えば、「自動車保険や火災保険を販売して、保険金をお支払いする」ということですが、今日は主に力を入れている「私の仕事」についてお話しして、損害保険会社の仕事の紹介になればと思います。

今日お話することは3点です。まず始めに業界の最新動向をお話しし、損害保険会社の仕事と、最後に、今最も力を入れている「災害対策と事業継続力強化計画(略してジギョケイ)」について時間の許す限りお話したいと思います。

それでは、「業界の最新動向」についてお話します。

デジタル技術の進展は目覚ましいものがありますが、まず、「フィンテック」という言葉は新聞でもよく出てきますが、「金融(フィナンシャル)とテクノロジーの融合」ですが、保険は「インシュアランスとテクノロジーの融合」で、「インステック」と言われています。

では具体的に「アメリカ」では、事故現場の写真を専用アプリで送信すると、車の修理見積書が瞬時に作成されます。顔写真を専用アプリで送信すると、年齢、平均寿命、BMI、既往歴等を判定し、体況に合わせた「生保見積書」を瞬時に作成します。

日本での最新のデジタル技術といいますと、ドローンや人工衛星画像で浸水被害や屋根の損傷具合を確認します。

現在は現地調査で浸水高を測定し、保険金支払に1~2ヵ月掛かっていたところを、最短2~3日で被害状況を把握でき、「迅速な保険金支払」に繋げることが出来ます。

電波で撮影するので、雲を透過して悪天候や夜間でも観測可能。熱海市の土砂災害でも活用し、ウクライナの戦況把握でもデータ提供しています。

自動車保険では、ドライブレコーダーを活用しています。市販との違いは、動画を撮るだけでなく、事故の衝撃を感知したら、当社の事故受付センターにdocomo回線で電話が繋がるとともに、事故前7秒と事故後4秒の11秒間切り取った動画を事故受付センターに自動送信されます。即座の救急車手配や事故受付が可能となります。

GPSと加速度センサーが搭載されていますので、事故映像と併せて、AIが約5分で事故状況を再現するシステムも開発し、迅速な事故状況の把握と保険金支払に活用しています。

今後、自治体に危険度道路マップを提供して事故防止に役立てたり、「修理工場との連携」は、車の衝突データを修理工場と共有し、必要な部品を事前に発注しておいて、入庫と同時にすぐ修理に取り掛かれる体制も検討しています。

「損害保険会社の仕事(大きな意味での役割)」についてお話しすると、

まず「会社の経営理念」ですが、「お客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、「安心と安全」の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献します」とあります。

当社のパーパス(存在意義)は「お客様や地域社会の「いざ」をお守りする」と、ディスクロージャー資料にも記載されています。個人や法人のお客様は当然ですが、ここでも「地域社会」もお守りするとあり、最近ではこの「地域社会の課題解決」に主に取り組んでいます。

ここからは、今最も力を入れている、「災害対策と事業継続力強化計画(ジギョケイ)」について、お話します。

新型コロナやロシアのウクライナ侵攻等に伴う物

価高で、中小企業を取り巻く経営環境は益々厳しくなっていますが、不測の災害が発生すれば、一気に経営危機に直結します。

中小企業白書の調査結果によれば、自社の事業継続が困難になると想定しているリスクは、「自然災害が7割、感染症が6割」と、災害が上位を占めています。

しかし、災害リスクが1位と認識しながら、約8割は災害対策（事業継続計画、BCP）が進んでいないと回答されています。

このスライドのように、残念ながら、事前の対策がされておらず、自然災害が原因で経営難に陥る事例は決して珍しくありません。

災害発生によって事業活動が停止となった場合、最悪のシナリオは「廃業」です。

事前の備えが不十分な場合は、初動に失敗し、被害が拡大して、事業活動は停止します。

事後の百策に追われ、想像以上の時間とコストが必要になり、精神的にも疲弊していきます。そうこうしているうちに顧客離れが始まり、資金繰りは悪化、優秀な人材から流出していきます。

廃業や事業縮小となる企業を減らす目的で、令和元年7月16日に「中小企業強靱化法」が施行されました。

度重なる自然災害によって、中小企業も国も自治体も経済面、財政面で大きな打撃を受けています。地域経済を支える中小企業に、一社でも多く災害対策を行って欲しい。そのために、この強靱化法が施行され、「事業継続力強化計画」という経済産業省の「国が企業を認定する制度」が創設されました。これは「BCP」のはじめの一歩であり、災害対策の「きっかけづくり」と位置付けています。

この事業継続力強化計画には「4つのメリット」があります。

1つ目は、顧客や従業員へのPR効果です。中小企業庁のHPに社名が掲載されたり、自社のHPや名刺に入れられるロゴを提供しています。

2022年11月末現在、認定を受けている企業は全国で約4万8,000社（48,641社）です。

千葉県は1,400社ありますが、銚子は数社、まだまだ希少性があり、名刺等に刷っているロゴが営業ツール・対話ツールとして活用できます。

メリットの2つめから4つめは、資金面でのメリットです。

2つ目のメリットは防災設備の購入時に税制優遇があります。最近では事業継続のために自家発電機を購入される企業も多いですが、100万円以上の自家発電機で「20%の特別償却」があります。

3つ目のメリットは、設備投資について、日本政策金融公庫の低利の融資が受けられます。

具体的には、貸付金利が「基準利率から0.9%引き下げ」られます。

4つ目のメリットは、ものづくり補助金等、経済産

業省の補助金が優先的に採択されます。

具体的には、ジギョケイに認定されると、補助金申請上の「加点ポイント」となります。

ここでBCPとジギョケイの関係を簡単にご説明します。BCPを分解すると次の4つの要素になります。

「生き抜く準備」として、①平時の備えと②初動対応、「元に戻す準備」として、③重要業務の継続と④発災前までの復旧計画の4つの要素・流れとなりますが、この「生き抜く準備」にあたる①、②について策定するのが「ジギョケイ」であり、BCPの「はじめの一歩」となります。特に「生き抜く準備」にあたる①、②については、企業規模や業種にかかわらず、共通する内容が多いと言われています。ジギョケイを4つのステップで見えていきます。

では、「知る」について、まず自然災害や感染症についてお話しします。

世界の主な異常気象・気象災害についてですが、大型ハリケーンや洪水、干ばつ等、世界中で異常気象がほぼ毎年発生しています。

これらの主な原因として、「地球温暖化による気候変動の影響」と考えられています。

日本近海の海面平均水温の変化を比べてみても、20年弱で海水温が大幅に上昇しています。

地球温暖化により、海水温が上昇し、水蒸気が多く供給されるため、積乱雲が発達して線状降水帯による集中豪雨や大型台風が発達し、災害が激甚化しています。

そこで、まずは銚子市のハザードマップを確認します。ハザードマップや自治体の防災計画・被害想定を確かめることから平時の準備は始まります。銚子市内のハザードマップです。市内を大きく9エリアに分けて、地域ごとに想定されるハザードが載っています。

銚子駅周辺から利根川周辺のエリアマップです。利根川の浸水は想定している方も多いと思いますが、大雨による浸水リスクに加え、震災時にあったように、津波による浸水リスクも川岸エリアでは広く影響があると想定されています。

また、あまり意識されることが少ないかもしれませんが、大雨によって「七つ池（ナツツケ）」が決壊した場合は、図の「濃紺の点で囲まれた地域」の「松岸（マツギシ）駅周辺や利根川に至る扇状地エリアに幅広く浸水するリスクがあります。

さらに、「東総台地（トウソウダイ）」と平地の堺は広く土砂崖崩れの可能性のある地域なので、図の「黄色・オレンジ」の地域は台風や大雨・地震による土砂災害リスクを想定して、初動対応を考え、備える必要があります。

続いて、その南側の銚子マリーナや屏風ヶ浦（東端）から、三崎町、イオンモール（西側）にかけてのマップです。東側の「県立の銚子高校」周辺では、先程と同じく溜池の決壊による周囲への浸水リスクが想定されますし、「市立の銚子高校」周辺では広

域に渡って土砂崩れなどに備える必要があります。海岸は利根川と同じく地震発生時は津波が想定されます。特に、東側の名洗港（ナライウ）周辺は土地が奥まっているため津波の影響も大きく、海岸沿いだけでなく奥地まで津波が到達する可能性があります。

先ほど、ハザードマップを確認してくださいと申し上げましたが、ハザードマップ通りにはなかなかいきません。こちらは、ハザードマップ上は危険度が低いと診断されたものの、実際には大きな災害となった事例です。いつどこで何が起きても不思議ではない時代ですので、BCPが必要になってきています。

「事業継続力強化計画」の策定についてお話しします。これが当社の「事業継続力強化計画策定シート」です。必要な項目を網羅、かつわかりやすく細分化しています。また、記入例が多く記載されていますので、変更がなければそのまま転用できます。本シートはボタン一つで「電子申請フォーム」にそのまま転記されます。

BCPや事業継続力強化計画策定はSDGs 17のゴールのうち、9, 11, 12, 13に該当すると考えています。まず事業継続力強化計画作成から始めてみませんか。弊社がお手伝いいたします。セミナーの内容そのまま、最後は営業っぽくなってしまいましたが、保険金支払とは違う目線でお話しました。今後も地域の皆様のお役に立てればと思います。ご静聴ありがとうございました。



委員会報告

須永清彦青少年奉仕委員長



地区RAC 大大運動会の参加報告

【出席報告】

会員総数 36名 出席計算 34名
出席 25名 欠席 9名
出席率 73.53%
欠席者：廣瀬君・五十嵐君・飯島君
宮内(秀)君・村田君・山本君
吉原君・鈴木君・高橋宏明君

【M U】

2/18.19 RYLAセミナー 須永君
2/21 栃木西RC 金島君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥26,000	計	¥514,000
スモールコイン	¥—	計	¥31,303
米山BOX	¥2,500	計	¥30,996
希望の風	¥—	計	¥180,700

次週（3月1日）プログラム
「ロータリーの楽しさ」
千葉科学大学ローターアクトクラブ
木原 正稀 様

※例会終了後クラブ協議会開催

お弁当：やまこ庵（幕の内）

例会プログラム

3月 水と衛生月間

8日 「洋服の話」 島田 洋二郎会員

12日(日)

第8グループインターシティミーティング
犬吠埼ホテル 点鐘15時

15日 「銚子の救急」

銚子消防本部

消防総務課長補佐 加藤 正洋様

22日 創立記念例会

「65年前の今日今頃創立されました」

伊藤 浩一会員

29日 「ハワイからの贈り物」

プアレイ・ホークー・さとこ・フラ・スタジオ
多部田 恵子様